于 小薇

20 号館 10 階　于研究室

テーマ:教育学的研究による日中社会の比較

【授業の主旨】

「一人っ子政策」は中国社会を理解するための重要なキーワードである。それが転換期を迎えた今、そしてこれから、中国社会をどのようなキーワードで概念化できるのだろうか。

1980 年代から継続された「一人っ子政策」が「二人っ子政策」、「三人子政策」への転換が完成した中国、18 歳人口が減少しつつある日本。ともに深刻な高齢化社会の問題を抱えている。当演習では、日本と中国にある共通の社会問題を見つめ、教育学的な観点からの比較分析を通して、隣人(国)同士の相互理解を深めることを目標としている。また、卒論を作成する際、中国語の文献を参考にする人へのサポートもする。

【授業計画・授業内容・一部の卒論テーマ】

春学期は、2 年生の応用演習で学んだ資料検索の方法やレポートの作成といった研究スキルを確実に身につけるよう、アカデミックリテラシーを高めつつ、中国の社会・教育問題に関する専門知識についても学習する。

秋学期は、卒論の執筆を視野に入れ、受講生それぞれが自分の研究発表を行う。発表者の発表内容を踏まえ、受講生同士で議論を行い、教員がコメントすることで、ゼミ生全員が卒業研究計画を立てることができるよう指導を進めていく。

最近の一部の卒論テーマ:「言語におけるジェンダー性」「学習指導要領から見る教育環境の変貌」「中国料理から見る食文化の多様性」「現代日本人の対中イメージの形成とマスメディア・SNS による影響の一考察」など。

【教科書】

特に指定はない。ただし、中国に関する専門知識の学術書について、最初の授業時に受講生各自の関心を考慮し、みんなで話し合って決めていく。基本的に日本語の文献を中心に学習を進めていくことなので、中国語の学習歴がなくても構わない。

【成績評価】

受講する態度が大切である。着実に努力する人は評価する。特別な理由がない限り、3 回以上欠席した人は評価の対象にならない。

【面談日時】

学生ポータル掲載の面談日程表の通りである。面談希望者は必ず事前にメールで予約を取ってください。于のメールアドレスは以下の通りである。

yuxiaowei@fsc.chubu.ac.jp